

パブリックコメント等の実施結果（概要）

1 実施目的

次期計画期間の北海道教育推進計画の策定に向けて、道民の皆様に広く御意見をいただくため策定した素案に対する意見聴取。

2 実施方法

- ・パブリックコメント（道民意見提出手続き）
- ・意見照会（教育関係など65団体、北海道知事部局）

3 意見募集期間

令和4年9月15日（木）～10月14日（金）

4 実施結果

(1) 意見数

（単位：意見数）

意見に対する考え方区分		パブコメ	関係団体	知事部局	計
A	意見を受けて案を修正したもの	0	9	4	13
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	0	6	2	8
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの	12	18	0	30
D	案に取り入れなかったもの	10	17	3	30
E	案の内容についての質問等	8	7	0	15
ー	参考意見とするもの	0	3	0	3
計		30件	60件	9件	99件

※参考 現行計画に対する意見数 108件

(2) 意見の内訳

（単位：意見数）

	意見に対する考え方区分							上位3項目
	A	B	C	D	E	ー	計	
計画全体	1	2	2	0	3	1	9	
第2章	5	2	11	10	4	0	32	2-(11)学校や教員を取り巻く状況 7件 2-(3)学力、2-(13)学校と地域の連携 3件
第4章	7	4	17	20	7	2	57	施策3資質能力(義務) 11件 施策9健康食育、施策17働き方 7件
その他	0	0	0	0	1	0	1	
計	13	8	30	30	15	3	99	

(3) 主な意見一覧

章	項目	主な意見	
2章	1 社会情勢	年少人口の道内外の地域間格差をどう考えているか	
	2 (3) 学力	道内の学力格差の原因は何か	
	(4) 特別支援教育	インクルーシブ教育推進のための人員配置を含めた施策とすべき	
	(5) キャリア教育	ディーセントワーク実現を目指すべき	
	(6) 体力・運動 健康教育	予算確保や過密教育課程の解消による体を動かす環境整備をすべき	
	(7) 道徳教育	教科書にとらわれず実生活を教材とするべき	
	(9) ICTの活用	サポート体制整備を早急に充実させる必要がある	
	(10) いじめ・不登校	「障がいや性自認など」がいじめの主たる理由に見え、誤解を生む	
	(11) 学校・教員を 取り巻く状況	人材流出の原因の認識、長時間労働是正をはじめとする職場環境の改善	
	(12) セーフティ	ヤングケアラーが相談しない理由の認識、支援とは何か	
	(13) 学校と地域	高校の小規模化は少子化などの外部要因だけが原因なのか	
	(14) 生涯・社会	学校司書、専任司書教諭を全校配置すべき	
	(15) 安全・安心 な教育環境	エアコン等、トイレ設備、耐震性の確保、バリアフリー化の環境整備が必要	
	4章	2 幼児教育の充実	保育者の賃金等勤務条件整備が必須である
		3 資質・能力の育成 (小・中)	学力・学習調査に関する記載がある限り、点数を上げるような対策授業が強要される
4 資質・能力の育成 (高校)		入試の再チャレンジや複数校受験など望む学校に入れるよう挑戦意欲を高めるべき	
5 特別支援教育		週の半分以上を目安に個別学習を求める「通知」を撤回すべき	
7 キャリア教育		キャリア・パスポートは本当に必要か検証すべき	
8 体力・運動能力		新体力テストは他者と結果を比べて運動嫌いになる子がいる。運動能力の数値化は弊害	
9 健康・食育		栄養教員が授業や授業準備時間を確保できるよう条件整備するべき	
10 道徳教育		道徳科に限って公開授業を目標値に設定し、公開を促進するべきではない	
11 ふるさと教育		世界遺産のみ教育推進計画に書くのはおかしい	
12 グローバル人材		(英語教育に関する) 数値目標達成の成果を求めることは学校を追い込むことになる	
13 ICTの活用推進		機器維持管理のための人員配置、ソフト購入・更新など予算措置が必要	
16 教員養成・採用・ 研修		教職員が望む研修は必要だが、それを数値化する必要はない	
17 働き方改革		活動地域移行は教員の負担軽減が目的なので、兼業に頼らない移行を目指すべき	
18 セーフティネット		各振興局に1校の公立夜間中学を開設すべき	
19 地域と学校の連携	活動は学校運営協議会または地域学校共同本部と連携で遂行するのにか		
20 生涯・社会教育	職員の不正が報じられたため、ネイパルの記載は削除すべき		
21 安全・安心の環境	災害に関する教育を充実させる必要がある		
	推進指標全体	施策項目すべての数値目標達成を求めれば、学校現場をさらに追い込むことになる	